

先週末までのマーケット動向(2月3日~2月11日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,202.0	1,206.9	1,194.0	1,198.5	▲7.0
JPY/KRW	10.5088	10.5481	10.3125	10.3230	▲0.124
KOSPI	2,706.34	2,788.27	2,702.78	2,747.71	+84.37

(Source: SMBS, Bloomberg)

3日以降のドル/ウォン相場は下落した。1,202.0ウォンでオープンしたドル/ウォンは、連休中に発表された韓国1月貿易収支が予想以上の赤字であったことを背景に3日中に1,206.9まで上昇したものの、4日以降は、韓国大型連休中に海外株式市場が堅調に推移していたことを受け、韓国株式にも外国人投資家による買い戻しが入りドル/ウォンは下落。翌週以降も、良好な米1月雇用統計の影響などあり、米長期金利が上昇する局面は見られたものの、市場全体でドルロングポジションに偏っていることや、FEDおよびECB高官から過度な利上げ警戒に対するけん制発言が相次いで出たことで、ドル/ウォンは上値の重い展開が継続した。しかし、10日米1月CPIは市場予想比強い結果となり、市場は一転して3月に50bpの米政策金利引き上げを織り込んだことで、ドル/ウォンも反発。結局、ドル/ウォンは先週末対比1.5ウォン上昇した1198.5ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週および来週のドル/ウォン相場はやや上値の重い展開を予想する。インフレ高進がしぶといことを示した米1月CPIを受け、米金利は大きく上昇したものの、既に3月に50bpの利上げを織り込んだとあっては、これ以上の米金利上昇は材料不足ではなかろうか。他方、ECBも高インフレを巡り金融正常化への圧力が高まっており、ユーロが選好される中ドル売りとなる構図に再びなるのではなかろうか。ただし、地政学リスクの高まりからくるリスクオフのドル買いについては一定の注意を払いたい。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1185 ~ 1210	10.20 ~ 10.50	114.5 ~ 116.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 15日(火) 日 12月 鉱工業指数 確報値
 欧 4Q GDP 改定値
 米 2月 NY連銀製造業指数
 米 1月 PPI
 日 4Q GDP 速報値
- 16日(水) 米 1月 鉱工業生産
 米 1月 小売売上高
 韓 1月 失業率
 中 1月 PPI
 中 1月 CPI
 米 FOMC議事録
- 17日(木) 日 12月 機械受注
 米 1月 住宅着工件数
 日 1月 貿易統計
- 18日(金) 日 1月 CPI
 米 1月 中古住宅販売件数